

## 「事務事業評価部会」における外部評価結果(事務事業の見直し・改善)

○外部評価の実施状況:山形県行政支出点検・行政改革推進委員会「事務事業評価部会」を8/8、8/25に開催し、外部評価を実施

○外部評価結果の区分:(1)廃止又は大幅な見直し、(2)より効果的・効率的な事業実施に向けて見直し、(3)成果検証を行いつつ事業継続

No	部局	事業名	事業概要	予算額(千円)		外部評価結果(部会意見)	
				事業費	一財	評価結果	主な意見
1	企画	移住定住・人材確保戦略的展開事業費	①県独自の移住セミナーの開催や全国規模の移住フェア等への出展 ②移住総合支援ガイドの作成や移住交流ポータルサイトの保守管理、Youtuberを活用した情報発信等 ③東京有楽町の東京交通会館8階にある「やまがたハッピーライフ情報センター」の管理運営経費 ④移住者に対する米・味噌・醤油の食の支援	19,454	12,254	(3)成果検証を行いつつ事業継続	○事業目的は妥当であり、また、目標を上回る実績を上げていることから、引き続き成果を確認していくこと。 ○首都圏等だけではなく、東北や特に宮城をターゲットの1つとしてはいかがか。 ○インターネットでの情報発信は、東京在住者や関東在住者以外への発信も強めれば、効果が高まるのかなと思う。 ○YouTubeを活用した動画による情報発信については、結果として再生回数が伸び、十分な効果があったと思われるが、委託金額も相当なものであるため、同様の事業を行う場合は、金額は検討の余地があるのではないかと。
2	企画	ロケ誘致促進事業費	本県の知名度向上や観光誘客を図るため、国内外の映画やテレビドラマ等の県内ロケに要する経費を支援	10,000	5,000	(1)廃止又は大幅な見直し	○事業開始から15年が経過し、外部環境を比較した場合に、変わらず映画への補助のままで良いのか疑問。 ○映画自体を見る人も減少傾向にある中で、人々の興味関心分野も多岐にわたることから、山形でロケした映画をどのくらいの方が実際に見て、しかもそれが山形だと認識されるか、なかなか難しいのではないかと。 ○興行収入や観客動員数の方がアウトカムの指標として妥当なのではないかと。 ○日本の文化としてアニメが世界から認められ、外国人の評価も非常に高いため、アニメの中で取り上げていただくというようなことも今の時代は有効ではないかと。 ○現在であれば、映画やドラマの他に、YouTuberや映像を作る会社、映像を配信する媒体が広がっているため、今後は補助要件の見直しも必要ではないかと。
3	企画	留学生受入拡大推進事業費	本県に就職する意思があり、県内企業に就職活動等を行う留学生に対し、給付型の奨学金を支給	10,869	10,869	(3)成果検証を行いつつ事業継続	○今の山形県の現状からすれば必要な施策だと思うが、開始から5年が経っていることから、内容の検証は必要。 ○県内就職者の実数がアウトカムとして新たに設定が必要なのではないかと。 ○県内に就職し残ってもらえる人が、まずは50%を超えられるように、大学と連携して進めてもらいたい。 ○日本語教育の要素もこういった事業にぜひ加え、山形県でも外国人の方が幸せに生活できるような基盤作りをしていただきたい。
4	環エネ	カーボンニュートラル県民アクション推進事業費	省エネ効果の高い家電製品への買換えを促すため、参加賞や賞品が当たる「省エネ家電買換えキャンペーン」を実施するもの	8,558	0	(1)廃止又は大幅な見直し	○カタログギフトの進呈が、果たしてこの施策のインセンティブになっているのだろうか。インセンティブや賞品等の考え方について見直した方が良いのではないかと。 ○地球温暖化対策は優先度の高い課題なので、この施策の取組み規模として中途半端なのではないかと。 ○もっと啓発活動をして、買換えをしななければいけないという気持ちになるような働きかけとなる施策にしていきたい。 ○買換え行動を起こせる方よりも、資金的に厳しく、買換えられない方を誘導することが重要だと思う。 ○令和4年度に453件の買換えがあったことで、どれくらい家庭でのCO2排出量の削減がされたのか今後見えてくると良い。
5	健福	健康づくりウォーキング推進事業費	①コロナに負けない身体づくりのためのウォーキング大会の開催に要する経費 ②県内事業所におけるウォーキング事業の実施に要する経費に対する補助(万歩計の購入費補助等)	11,860	5,930	(2)より効果的・効率的な事業実施に向けて見直し	○県民全体にウォーキングを拡大していくという考えはとても重要だが、予算も限られているため、データを活用して、他に比べて少し不健康だという業種に対して集中的に事業者向けの補助を行う等、工夫すればより効果的な事業になるのではないかと。 ○令和5年度は推進する人材育成が行われているのがポイント。各地域や団体の中でこういった活動を推進してくれる仲介者を育成していくことが取組みを広める上で重要だと思う。 ○他団体との連携が重要。例えば、上山市のクアオルト事業等、専門的に実施している市町村や、町内会や学区等でラジオ体操等をしている方々と上手く連携し、推進する人材育成の宣伝活動を行う等いろいろ可能性はあると思う。 ○委託先については、県内でも民間の各種スポーツクラブ等も増えており、そういったところからも話を聞いてみる等、なるべく県自身で実施というよりは、他団体の力を借りて進めていただくのが良いのではないかと。 ○成果指標、成果実績のアウトカムで、健康寿命や従業員の健康づくりに取り組む事業所数という指標は、この事業とどれだけ因果関係があるのかわかりにくい。例えば成果指標については、健康寿命ではなく、高血圧や肥満の人の数を減らす等の指標もあるのではないかと。

No	部局	事業名	事業概要	予算額(千円)		外部評価結果(部会意見)	
				事業費	一財	評価結果	主な意見
6	産業	人材確保・生産性向上推進事業費	①コーディネーターによる女性・高齢者を雇用する企業の掘り起こしや各種セミナーの開催等 ②障がい者雇用を促進するためのコーディネーターによる実態調査・企業への働きかけや、企業の理解促進のためのセミナー開催等	33,890	18,934	(2)より効果的・効率的な事業実施に向けて見直し	<p>○企業は人手不足で、どんどん採用したいという考えを持っている。人材確保の施策としては、企業側への働きかけに加え、働く女性側への働きかけをもっと強化すべきである。</p> <p>○女性の新規就業者数については、パート・アルバイト・正社員等どんな雇用形態なのかも大事なことだと思う。</p> <p>○女性の新規就業者数は、この事業の成果というより景気の動向をかなり受けてしまう指標だと思う。例えば女性の管理職を増やすことや、働きやすさ、企業での活躍等をアウトカムに反映できれば良い。</p> <p>○高齢者側のニーズの掘り起こしについては、例えばそれまで続けていた仕事をなぜ辞めなければならなかったのか、就業のハードルになるようなことがどの部分にあるのかといった点等がはっきりしてくると、より良い改善の仕組みになるのではないか。アンケート等により、そういう点を明らかにし、そのデータをアウトプットやアウトカムに活用して今後も続けていただければ良い。</p> <p>○障がい者については法定雇用率という目標があるため、例えば達成企業・未達成企業等の指標があるべきだと思うし、セミナーも開催していることから、セミナーに関する実績等も入っていなければならないのではと感じる。</p>
7	教育	オリンピックメダリスト育成事業費	スポーツタレント発掘事業「ドリームキッズ」の推進経費	21,153	13,153	(2)より効果的・効率的な事業実施に向けて見直し	<p>○小学校3、4年生での選抜だけではなく、小学校高学年や中学校での選抜も考えられるのではないかな。</p> <p>○世界やトップを狙うには非常に金銭面が大変であるため、このプログラムが終わった後の支援も充実していくことが必要なのではないかな。</p> <p>○県内に、多様なスポーツができる環境を整備するという視点から施設使用料の補助や、遠征に向かう人たちに対する補助、部活動指導員やコーチに対する補助等も重要だと思うので、毎年、小学3、4年生という限定的な子ども達を対象にしたプロジェクトにする必要があるのか疑問。支援の方向性は一緒でも、支援の形の見直しができるのではないかな。</p>